

様々な場所・人とつながるアイデアを考えよう！

令和8(2026)～9(2027)年度に鷺沼駅周辺に移転・整備する予定の新しい宮前市民館・図書館の検討に向けて、第7回ワークショップを5月22日(土)に開催し、小中高校生・大学生からベテラン世代まで、29人の方にご参加いただきました。

本ワークショップは、新しい施設で行われる事業や使用ルール等の柱を定める管理運営計画の検討にあたって、皆さんと一緒に考えたり語ったりする内容となっており、全9回を予定しています。

このニュースレターでは、当日のワークショップの様子やいただいたご意見をお伝えします！



複合施設のメリットを活かした取組って？

今回のワークショップのテーマは「複合施設のメリットを活かした取組を考えよう」でした。

参加者の皆さんには、複合施設のメリットを考慮した上で、宮前市民館・図書館の年間行事一覧や他施設の事例も参照しながら、市民館・図書館と民間施設や広場が連携する事業のアイデア、そのために求められる運営のアイデアについて考えていただき、ご意見を付箋に書き出し、皆さんで話し合いをしながら、意見を整理しました。

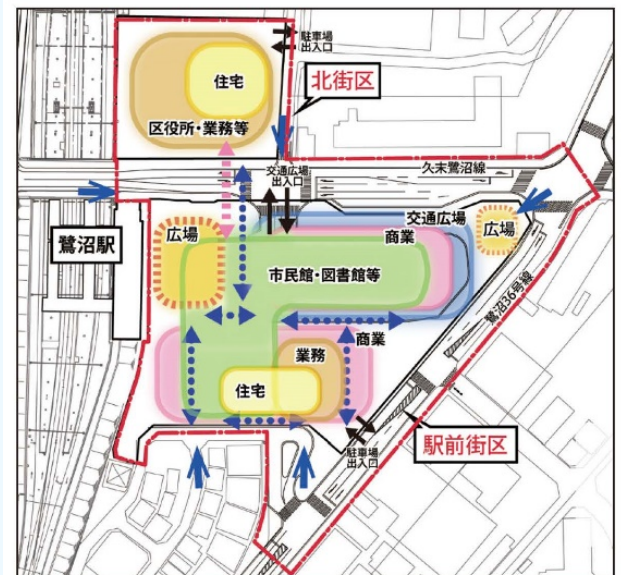
複合施設の強みを活かし、様々な施設を組み合わせた事業、運営のアイデアが生まれ、グループワークは大いに盛り上がりました！

皆さんからのご意見は次のページに続きます。



どんな施設と複合なの？

新しい宮前市民館・図書館は鷺沼駅前地区再開発事業において、商業施設や広場、業務機能等との複合施設として整備されることが予定されています。事業面での連携の他、施設面では、街区間、周辺地域とのつながりなども含めた検討が進められています。



導入機能の配置イメージ (準備組合提供資料)

連携事業のアイデア

組み合わせ	事業内容
市民館	
市民館（ホール）×図書館	・絵本などの朗読のワークショップ 取り扱った本のフェア ・ホールでピブリオバトル ・小学生向けのお話し会
市民館・図書館×花屋	・花屋、市民館・図書館でガーデニングや育て方を学び、マンションのエリアで花を育てる
市民館×塾	・勉強会
市民館×学校	・文化祭や合唱コンクール
ホール×広場	・小、中学生と高齢者の方の交流イベント（例：昔あそびなど） ・演奏会や劇の発表
調理室×広場	・アウトドアクッキングスクール
商店街×広場×ホール	・さくらまつりや秋まつりを駅前広場やホールを使って開催する
図書館	
図書館×塾	・分からないところをすぐに聞くことができる（寺子屋的な）
図書館×カフェ	・コーヒーを飲みながら本、雑誌を読めるスペース
図書館×本屋	・同じテーマで本を紹介する
図書館×園芸	・植木や苗などの販売、ワークショップ 園芸の本のフェア
図書館×広場	・おはなし会を広場でやる ・親子で読書を楽しむ
図書館×広場×駅	・駅から家に帰るまでのサードプレイスの場所をつくる（勉強したり、本を読んだり、話したり）
連携事業に求められる運営	
種別	運営内容
規則	
本の持ち出し	・ホールでイベントがない時はホールで貸出手続き前の本を読めるようにする ・商業エリアへの本の持ち出しの許可 ・広場への図書の持ち出しを許可
開館時間	・行政の窓口を土日や夜も開く（商業エリアの営業時間を考慮） →図書館や市民館が夜のイベントにも対応
利用	・空き会議室等を自習室として活用できるようにする
組織・職員	
運営組織・協議会	・連携のための連携協議会の設置 ・イベント協議会 行政・東急・商店街・町会（市民） ・広場づくり委員会を設ける 子ども部会、中高生部会など
人材（養成）	・図書館にも市民館にもコーディネーターを置いて、その人に相談すれば簡単に連携ができるようにする
広報	
施設間連携（事業の広報）	・区役所主催の事業の内容を図書館やホールで展示し、多くの人に知ってもらう ・図書館・市・店 イベントチラシを活用し相互に広報 ・市民館・図書館の事業の宣伝用のポスターを駅や広場にはる ・学校で市民館を宣伝

今回のワークショップでは、計6チームに分かれ、複合施設のメリットを活かした取組について意見を出し合いました。小中高生・大学生からベテラン世代まで、それぞれの視点でアイデアを出し合っていて、活発な意見交換が行われました。

連携事業のアイデアでは、市民館と図書館、市民館・図書館と民間施設など、館内での連携事業の他、それぞれの施設と広場、学校、商店街など、館外との連携事業のアイデアもありました。

連携事業に求められる運営では、幅広い事業に対応できる

規則、市民が参加できる運営組織、協議会の設置、施設をつなぐ人材の育成、施設間で相互に広報を行うなどのアイデアがありました。

今回のワークショップのテーマは、「「まちに飛び出す」を考える」です。

ご期待ください！

複合施設のメリットを活かした取組と求められる運営とは？

まだまだ掲載しきれないほど、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました！

なんでもアンケート

ワークショップ終了後に参加者の皆さんからいただいた感想・ご意見をご紹介します。



今回は連携事業という少し難しいテーマでしたが、グループの中でもそれぞれ全然違う意見が出て、とても楽しかったです。

色々とディスカッションしながらアイデア出しができたのでとても楽しかった。



施設のみならず区全体のつながりを考えられるまで話が広がり、面白かったです。

色々な連携のアイデアが聞けて良かった。



今後のワークショップ

回	日付	場所	テーマ
7	5月22日（土）	土橋小学校	複合施設のメリットを活かした取組を考えよう 済
8	6月26日（土）	土橋小学校	「まちに飛び出す」を考える
9	7月31日（土）	土橋小学校	「地域の“チカラ”を育む」を考える ～どんな風に参加する？～

本ワークショップは全9回を予定しています。（傍聴可）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、日程が変更となる場合もあります。

お問合せ

〒210-0005 川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビル13階
川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
TEL 044-200-1981 FAX 044-200-3950